

Enjoy Jazz エンジョイ ジャズ

サマー Summer

2022.6/5日

15:00開演 14:30開場

～細谷ヒロ スペシャルカルテット&横山未希～

海外演奏経験のある注目の若手サクソプレイヤー"細谷ヒロ"率いるカルテットに、横山未希をヴォーカルに迎えて贈るスペシャルコンサート。



細谷ヒロ(サクソ)



横山未希(ヴォーカル)

オータム Autumn

2022.10/30日

15:00開演 14:30開場

～北島佳乃子トリオ with 瀬瀬歩美
スペシャル・ジャズ・コンサート～

ジャズ界のクールビューティーが待望の歸演/ビバップを継承する新世代の至宝、北島佳乃子と瀬瀬歩美が描く、カルテットならではの美しいグルーブ、そしてプレミアムなステージ!



北島佳乃子(ピアノ)



ゲスト：瀬瀬歩美(サクソ)



木村耕平(ベース)



大友孝彰(ピアノ)



佐々木空(ドラムス)



中村健吾(ベース)



藤井学(ドラムス)

【予定曲目】 ムーンリバー、明るい表通りで、ユード・ビー・ソー・ナイス・トゥ・カム・ホーム・トゥ ほか

【予定曲目】 イッツ・イージー・トゥ・リメンバー、アローン・トゥゲザー、いつか王子様が ほか

会場 玉村町文化センター『にしきのホール』(大ホール)

チケット 全自由席 2,500円 (高校生以下 1,000円) ●チケット発売日●4月9日 日

主催/(公財)玉村町文化振興財団 後援/(株)クレッシェンド TEL.090-3504-2792 ※セット券の販売は6月5日回まで

問い合わせ/(公財)玉村町文化振興財団 TEL.0270-65-0600(9:00~17:00 月・祝休み)

〒370-1105 群馬県佐波郡玉村町福島325

※未就学児の入場は
ご遠慮ください。

お得な2公演セット券
4,000円

玉村町文化振興財団



Enjoy Jazz エンジョイ ジャズ

サマー

Profile

細谷ヒロ Hiro Hosoya/Sax

2010年に群馬県のソロコンテスト高校の部で金賞を受賞し、その後ジャズに転向。大学在学中から年間6回程度のワンマンライブを定期開催する傍ら、各種イベントで幅広く演奏活動を行う。学生時代にはコンサートマスターとして所属するビッグバンドを全国大会へと導いた。大学卒業、海外数カ国で路上ライブなどをしながら現地のミュージシャン達と交流して経験を積む。2021年から拠点を東京に移して活動している。

横山未希 Miki Yokoyama/Vocal

群馬県出身のジャズシンガー。2012年よりジャズシンガーとしての活動を開始。独特の声質、リズム感が評価され、関東近郊を中心に活動を行なう。2016年ニューヨークへ移住。現地ミュージシャンとの共演を重ねながら、Jay Clayton、Nancy Marano等に師事。人々の心に届く、歌詞を伝える表現力と、スクワットを得意とし、ニューヨークの数多くのジャズクラブに出演。2020年12月より拠点を日本に移し、ライブ演奏、ボーカル講師としての活動を精力的に行なっている。

木村耕平 Kouhei Kimura/Bass

12歳からエレキベースを始め、20歳からアメリカに移住し10年間音楽や英語を学ぶ。渡米中にはJAZZ.HIPHOP.ROCKなど数々のレコーディングに参加。帰国後は関東を中心に日本全国で活動中。ウッドベース、エレキベースを弾く。

大友孝彰 Takaaki Otomo/Piano

17歳から北野タダオ氏に師事。関西を中心にライブ活動を重ねる。2008年に自身の初リーダーアルバム「Nightmare」をリリース。2014年にニューヨークに拠点を移し、現地ミュージシャンとセッションを重ねる。2017年に「New Kid In Town」をリリースし、2018年には、ジャズ雑誌「Downbeat magazine」に取り上げられる。2020年12月より拠点を日本に移し、精力的に活動している。

佐々木空 Sora Sasaki/Drums

宮城県出身。音楽好きの両親の影響で12歳からギターを始める。小山工業高等学校入学と共に吹奏楽部に入部。一年間パーカッションを務めた後、アルトサクソに転向。群馬大学編入と共にジャズ研に入部しジャズドラムと出会う。在学中から県内のジャズバーを中心に演奏活動を開始。現在は北関東を中心に演奏活動を行っている。

オータム

Profile

北島佳乃子 Kanoko Kitajima/Piano

福岡県出身。2010年福岡女子短期大学音楽科ピアノ専攻卒業。2014年小沢征爾氏と大西順子氏が主催する「サイトウキネンジャズワークショップ」に全国から選抜され参加。2016年ジャズ批評誌で、要注目ミュージシャンとして取り上げられる。2019年1stアルバム『Long way to go』をリリース。同年7月、小林陽一率いる「J Messengers」のピアニストとして、ヴィンセント・ハーリング(as)、フィリップ・ハーバー(tp)、エシエット・オコン・エシエット(b)との全国ツアーに参加。以後、岡崎好朗(tp)、植松孝夫(ts)、村上寛(ds)、古野光昭(b)、奥平真吾(ds)等、多数の著名なアーティストと共演する。レッド・ガーランド、ウィントン・ケリー、バリー・ハリス等バップ系ピアニストに傾倒する気鋭のピアニスト。

中村健吾 Kengo Nakamura/Bass

大阪府出身。1991年パークリー音楽大学卒業後、ニューヨークへ移る。1997年巨匠ウィントン・マルサリスが音楽監督を務めるリンカーンセンター・ジャズ・オーケストラに参加。また、マルサリス・カルテットのメンバーとして、クリントン前大統領主催のプレジデント・サミットで演奏。2000年渡辺貞夫カルテットツアーに参加。2001年小曽根真がプロデュースしたニューヨーク録音によるデビュー作『Divine』をユニバーサルミュージックからメジャーリリース。2005年グラミー賞にノミネートされたマルサリスのアルバム『Live at the House of Tribes』(Blue Note)にクインテットのメンバーとして録音に参加。現在、小曽根真ビッグバンド「No Name Horses」の主要メンバーとしても活躍中。

藤井学 Manabu Fujii/Drums

広島県出身。14歳からドラムを始め、15歳の時『リッチ vs ローチ』のレコードを聴き、ジャズに目覚める。大学進学を機に名古屋で佐武伸康氏に師事。その後、阿川泰子のバンドメンバーとして、日本テレビ「オシャレ30・30」に出演。2004年アメリカ録音によるリーダー作『I'm a drummer』をリリース。2011年よりサラナ・ジョーンズの全国ツアーをサポート。渡辺香津美、寺井尚子、市川秀男、向井滋春、木住野佳子、矢野沙織、カール・カーター、ティブ・フィンク、バリー・フィナティ等、ビッグネームと多数共演。オール・ジャンルをこなすテクニカルなドラマー。

緞緞歩美 Ayumi Koketsu/Sax

岐阜県出身。弱冠21歳でポニーキャニオンよりアルバム『Struttin'』でメジャーデビュー。2011年NHK総合テレビの大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」のエンディングテーマに演奏参加。2012年日本テレビ「スッキリ」に出演。2018年に小野リサがプロデュースした初のボサノヴァアルバム『オ・パト』(最新作)をはじめ、ノルウェー録音、ニューヨーク録音を含む計8枚のアルバムをリリース。デヴィッド・ヘイゼルタイン、デヴィッド・ウィリアムス、ルイス・ナツシユ、ウィリー・ジョーンズ、日野皓正、渡辺香津美等、国内外の著名なアーティストと多数共演。洗練された柔らかな音色とダイナミックなアプローチを得意とし、アート・ベッツパー、リー・コニッツ等に影響を受けたクールジャズを継承する気鋭のサクソ奏者。